

物理

全問題共通：指定された文字以外を使用して解答しているものは不正解，または減点とした。また，文字の順番などが物理のルールに沿っていなくても今回は不問にした。（反発係数 e は数値扱いなので，「3」などの係数と同じく先頭にするのが望ましい。）

問題Ⅰ

設問(3) 衝突直後の小球の「鉛直方向の速度成分」が 0 になることを書いていない答案は減点とした。

問題Ⅱ

設問(7) 単位の無い解答や単位間違いは問題文に記載があるため 0 点とした。

問題Ⅲ

設問(4) 文章で書いていなくても加点とした。

設問(10) 明線幅が正しく求められて加点，結論が正解で加点とした。

化学

全問題共通：計算問題について，指定された有効数字でない解答は 0 点とした。また計算過程を示す問題で，過程が一切なく，解答のみが記入されている場合も 0 点とした。

問題Ⅰ

設問(2)(3)(4) 有効数字 2 桁でないものは不正解とした。

設問(5) 「温度が下がると熱運動が弱まる」「水と X との引力が切断しにくい」の両方の内容が入っていれば，正解とした。途中まで正解の場合は部分点を与えた。

問題Ⅱ

設問(2)(ii) 有効数字 2 桁でないものは不正解とした。

設問(3)(i) 整数値でないものは不正解とした。

設問(4)(iii) 有効数字 2 桁でないものは不正解とした。

問題Ⅲ

問 1

設問(3) 有効数字 2 桁でないものは不正解とした。

設問(5) 過程が一切なく、解答のみが記入されている場合は0点とした。

また、解答が有効数字2桁でないものは不正解とした。

① 各電極の反応式が書けている

② CO と CO₂ についての関係式が立てられている

③ 物質量が正しく求められている。

①～③まで書いて正解とした。途中まで正解の場合は部分点を与えた。

設問(6) 「イオン化傾向が大きい」、「水が還元される」または「水が電気分解される」の内容が入っていれば正解とした。途中まで正解の場合は部分点を与えた。

問2

設問(4) 「硫化水素により還元される」「希硝酸により酸化する」の内容が入っていれば正解とした。途中まで正解の場合は部分点を与えた。

設問(5) 小数第2位まで求めていないものは不正解とした。

生物

全問題共通：論述問題は誤字一つにつき1点減点。記述が不足している、誤った記述や具体性のない記述が含まれている、または題意の論点から外れている記述が見られた場合は減点とした。

問題Ⅰ

設問(4) 問題文に指定されている正しい細胞骨格の名称が解答にない場合は不正解とした。

問題Ⅱ

設問(4) 樹状細胞に抗原提示を受けた場合、ヘルパーT細胞はどのようなはたらきを示すかという問題については、「キラーT細胞を活性化させる」という解答でも正解としたが「同じ抗原に反応するキラーT細胞」といった、より具体的な記述のある解答を加点対象としている。体液性免疫でメロゾイトを排除するのが難しい理由を答えさせる問題では、「抗体が細胞膜を透過できないこと」、「それによって抗体がメロゾイトに結合できないこと」などが正確に書けていれば、満点とした。

設問(5) 「ヒトの赤血球中に核が存在すれば、マラリアに感染している」といった記述があれば正解としたが、その解答に至る記述で、「ヒトの赤血球が無核であること」、「本来無核であるはずの赤血球に存在する核はメロゾイトの核であること」などが正確に書けていれば、満点とした。

問題Ⅲ

設問(6) 原則として模範解答準拠であるが、点線の幅が左右で大きく偏っているなど極端な図の歪みがない限りは正解とした。